

平成25年度
アート Kommission・ヨコハマ事業 報告書

平成25年3月31日 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

<平成 25 年度 総括>

創造都市政策の第二フェーズに向けて、邁進した一年でした。集積したアーティスト、クリエイターを地域の企業や行政と繋ぐ相談・コーディネート業務は、「横浜マラソン」のロゴデザイン等の実績を上げました。また、ドックヤードガーデン活用事業の実施、平成 26 年度より横浜市に引き継ぐ「創造的産業振興モデル事業」など、産業、まちづくり系において、次々と新規事業を立ち上げました。

また、課題となっている創造都市の PR 力向上のために新規に創造都市プロモーションのサイト「創造都市横浜」を開設。Facebook のファン数が半年で 10,000 “いいね！”を超えるなど、顕著な実績を上げました。

助成事業について、アーティスト等の活動を支援する制度は、これまでの経験を活かし、横浜におけるアーティスト等のキャリア形成に寄与、誘致に関する制度についても安定した実績をあげています。ただ、芸術不動産リノベーション助成について、オーナー等から 14 件の相談を受けたものの、条件が折り合わず未執行となっています。

また、関内外 OPEN!は、横浜の秋の風物詩として少しずつ定着し始め、今年は過去最高の参加者数、来場者数を数えました。また、TPAM、アーティスト・イン・レジデンス事業の国際交流事業でも、ACY 事業における海外の交流の軸として、着実に実績をあげています。

1 相談業務

創造都市政策や横浜での活動についてのご相談を事前予約制で常時お受けしています。どなたでも利用できる窓口で、アーティストの創作活動の支援から、政策研究者の支援、企業や行政へクリエイターやアーティストを紹介することまで、多岐にわたり直接、間接的な支援をしています。

平成 25 年度は、138 件の相談を受けました。その中で、民間企業、行政からのデザイナー等を紹介して欲しいという要望が増えてきています。企業との成果として、大手不動産会社のパンフレットや商業施設イベント、また行政のポスター・フライヤー等の製作にあたって多くのアーティスト・デザイナーの紹介を行いました。これらの実績を踏まえ「横浜デザイナー推薦制度」を立ち上げ、「横浜マラソン 2015」のロゴデザイナーをコーディネートしています。

<平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月までの取りまとめ> 総数 138 件

内容		相手方	
助成	21	アート系	59
拠点形成	44	行政	28
企画	20	企業	19
マッチング	16	創造産業系	10
調査	16	大学	8
視察	9	オーナー	6
その他	12	市民団体	7
		その他	1

【横浜市 各局からの相談】

- 市民局… 「横浜マラソン 2015」の大会ロゴ制定におけるマッチング
同モーションロゴ、映像制作におけるマッチング
- ＜参考＞採択ロゴ(ACY 推薦者 3 組から横浜市の審査会により満島弘+山下良平が採択)



- 温暖化対策室… 「環境未来都市をPRする拠点」のプランニングにおけるマッチング
- 東アジア文化都市…「文化イベント」へのアーティスト、クリエイターの紹介。など

2 創造活動支援



今年度の活動支援に関する助成制度は、横浜トリエンナーレ2014の盛り上げ寄与のために新設した創造活動支援助成を含め、3 プログラムで運用しました。先駆的活動支援助成では、初めて何らかの公開・成果発表の有無にこだわらず、作品制作の活動も支援対象に含めました。現代美術、映像(映画)、ダンス、演劇、まちづくり、地域課題解決等、横浜における幅広い活動の支援を実施することができました。

(1) 先駆的芸術活動支援助成

応募総数:47件(2012年:64件)、審査会:5/21(火) 採択:11件、採択金額:8,000,000円
審査員:樽沼博久、久野敦子、村田真

No	主催者・団体名	事業名/活動分野	交付額
1	悪魔のしるし 危口統之	「悪魔としるし」「注文の夥しい料理店についての簡潔な報告」	1,000,000
2	長内裕美	「dancedoudle#2」	1,000,000
3	人人 FILMS 中村高寛	ドキュメンタリー映画の制作	1,000,000
4	マームとジブシー 林香菜	「モモノパノラマ」	800,000
5	室伏 鴻	「<外>の千夜一夜」	1,000,000
6	pboxx 新美桂子	安野太郎のゾンビ音楽 QUARTET OF THE LIVING DEAD	300,000
7	重力/Note 鹿島将介	「リスボン@ベソア」	400,000
8	NPO 法人ドリフターズ・インターナショナル	ドリフターズ・サマースクール 2013	1,000,000
9	汎用動力研究所 牛島達治	旅する工房 SEV プロジェクト	500,000
10	東京 ELECTROCK STAIRS KENTARO!!	「つまるところ よいん」	500,000
11	きたまり	横浜滞在「RE/PLAY(DANCE Edit.)」の創作・上映、新作リサーチ	500,000
合計			8,000,000

(2) 都市文化創造支援助成

応募総数:23件、審査会:5/29(水) 採択:4件、採択金額:5,000,000円
審査員:大澤寅雄、芹沢高志、若林朋子

No	主催者・団体名	事業名/活動分野	交付額
1	ART LAB OVA スズキクリ、蔭山ヅル	多文化なまちの共生可能な自治	1,200,000
2	横浜舞台芸術応援隊実行委員会 高橋マミ	日韓共同製作プロジェクト『つれなくも秋の風』	2,000,000
3	水辺荘 山崎博史 岩本唯史	横浜棧橋育成プログラム	800,000
4	ライフアートユニオン ひと&ひと 金沢真	横浜のお稽古場から世界へ発信！ ハマげいこプロジェクト UNIVERSE	1,000,000
合計			5,000,000

(3) 創造活動支援助成

応募総数:14件、審査会:5/23日(木) 採択:4件、採択金額:2,730,000円
審査員:中野仁詞、住吉智恵、帆足亜紀

No	主催者・団体名	事業名/活動分野	交付額
1	30秒に一回みつける写真道場！！	みつける ビジターセンターヨコハマ	800,000
2	青田真也	青田真也:市民・学生参加型公開制作 及びオープンスタジオ、展示	730,000
3	TETSUSON 林淳一朗	卒業制作合同展示会 TETSUSON2014	400,000
4	有限会社 アイトゥーン 伊藤有壱	ハーバーテイル 2013	800,000
合計			2,730,000

(4) 国際舞台芸術ミーティング in 横浜(TPAM in Yokohama 2014)



写真：YCCにて開催されたミーティングプログラム

日本で最大級の、舞台芸術に取り組むプロフェッショナルのための国際的プラットフォーム。舞台芸術に関わるプロフェッショナルが国や地域を超えて出会い、公演、ディスカッション、ミーティングなど多彩なプログラムを通して情報交換、相互学習、ネットワーキングが行われるとともに、一般客にとってもプロがみたい・みてほしい最新の舞台芸術作品をいち早く鑑賞できる場となっています。舞台芸術 AIR ミーティング、舞台芸術制作者オープンネットワーク(ON-PAM)も併催。

TPAMは1995年に「芸術見本市(TPAM=Tokyo Performing Arts Market)」として開始されましたが、2011年に会場を横浜に移し、「M」を「Market」から「Meeting」と改め、「国際舞台芸術ミーティング in 横浜(Performing Arts Meeting in Yokohama)」として再出発しました。舞台芸術の国際的なプラットフォームとして通算第18回、横浜での開催は4回目を迎えました(2014年度)。

PARC(国際舞台芸術交流センター)を事務局に、当財団、国際交流基金、公益財団法人神奈川芸術文化財団の4者から成る実行委員会が主催となり、組織の垣根を越え、都心臨海部の創造限界を中心に多様な文化施設が一丸となって開催にあたっています。

今年度は、各拠点を結ぶバスや横断幕、ケータリング、英文詳細地図、バイリンガルの徹底などおもてなしにも力を入れました。

会期：2014年2月8日(土)～16日(日)

主催：国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2014 実行委員会(国際交流基金、公益財団法人神奈川芸術文化財団、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、PARC - 国際舞台芸術交流センター)

総来場者数累計：21,612名

来日ディレクター：海外32カ国から146名

プログラム

<ショーイング・プログラム>

「TPAM ディレクション」「インターナショナル・ショーケース」「TPAM ショーケース」の3つからなる公演プログラム。舞台芸術の実験的コンセプト、これからの活躍が期待される新しい才能、国内外の関係者の

間で話題になっている作品を上演。

＜ネットワーキング・プログラム＞

海外から約 150 名、国内から約 500 名の舞台芸術関係者が参加する、TPAM ならではのプロフェッショナルのためのプログラム。情報の共有・更新、ディスカッション、ミーティングの場が用意されている。

* ACY 相談担当が、上記の2つのネットワーキングプログラムに参加。計 30 組のアーティスト、ディレクターの相談にのり、助成制度等の説明を行いました。

3 創造まちづくり支援

(1) アーティスト・クリエイターのための事務所等開設支援助成

応募総数:6 件、審査会:2/6(木) 採択:5 件、採択金額:3,896,000 円

審査:要件審査

No	主催者・団体名	事業名／活動分野	交付額
1	株式会社アート・コンサルティング・ファーム	アートディレクション	840,000
2	株式会社 O.A.D.	建築デザイン	279,000
3	合資会社カモメサウンドワークス	音楽、サウンドデザイン	2,000,000
4	武久絵里	彫刻、パフォーマンス	286,000
5	有限責任事業組合まちテラス	まちづくり	491,000
		合計	3,896,000

(2) 芸術不動産リノベーション助成

申請対象であるオーナー等からは、14 件の相談を受けましたが、実際の申請に繋がる案件は結果 0 件であり、未執行です。

(3) リノベーション推進事業

① ドックヤードガーデン活用事業



三菱地所株式会社、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、横浜市の3者で協定を結び、三菱地所株式会社の保有するドックヤードガーデンの地下一階部分を公益財団法人横浜市芸術文化振興財団が借り受け、それを活用する民間事業者を公募することで、新たに文化芸術創造都市・横浜へ寄与する拠点のひとつとして再生させる取組を始めています。現在、本施設を平成26年4月もしくは6月から、5年(2期)10年間運営する団体を公募しました。公募にあたっては、昨年度実施した活用事業者候補へのサウンディングの中から具体的な企画書を提示した事業者へ再サウンディングを行っています。

公募の結果、株式会社リビタを選定し、交渉の後、2月に契約しました。リビタ社の提案コンセプトは、ヨコハマのグッドネイバーが集う「大人の部室」です。3月に横浜市を総理とし前述3者に三菱地所ビルマネジメントを加えた4者でドックヤード活用事業運営協議会が立ち上げました。

- 平成24年度 活用事業者候補のサウンディング調査
- 平成25年9月 活用事業者の公募
- 平成25年11月 優先交渉権者の選出(契約交渉2か月)
- 平成25年2月 契約締結(企画、運営、管理、広報等の打合せ開始)
- 平成25年3月 ドックヤード活用事業運営協議会に参画

② 芸術不動産及びリノベーション推進のためのオーナー経営支援事業

関内・関外地区における創造活動拠点の形成を目的に、芸術不動産及び、リノベーション推進事業を通してオーナーの不動産経営支援を行いました。

<業務内容>

1. オーナー主導による芸術不動産及び、リノベーション推進に関する戦略策定
2. 物件簡易診断の実施
3. 1、2の仮説を元に横浜都心臨海部全体に参考になるケーススタディを生み出す報告書を作成。

(4) 関内外 OPEN! 5



都心臨海部の空き物件にアーティストやクリエイターを誘致し、集積した成果を一般市民の方へ公開するイベントです。今年で5回目を迎える本イベントのプログラムは、アーティストやクリエイターが自らの仕事を期間限定で一般公開する「オープスタジオ」、「スタジオ見学ツアー」、デザイナーによるプレゼンテーション大会「デザインピッチ」、参加スタジオのポートフォリオを揃えた展示、参加スタジオ主催の各種イベントなどで構成されています。45拠点・200組が参加し、17人の大学生インターンが創造都市活動について学びました。「広報よこはま中区版」で特集が生まれ、朝日新聞、tvkの横浜市広報番組で取り上げられるなど、回を重ねてきたことでその取り組みが認知・評価されてきました。

日程：11/1-11/2

事業内容： ①オープスタジオ 参加スタジオ数：45 拠点、200 組
②スタジオ見学ツアー 6 コース×2 回 計 12 コース
③デザインピッチ 14 組のデザイナー、編集者等が参加
④ポートフォリオ展示 97 冊のデザイナーポートフォリオを 1 ヶ月、YCC1 階で展示
⑤参加スタジオ主宰イベント 34 イベント

料金：無料(一部有料)

入場者数：3099 名

(5) 創造都市横浜アーティスト・クリエイターリストの作成

毎年、関内外 OPEN!の活動の一環で、横浜都心臨海部に集積しているアーティストやクリエイターのリストを作成しています。ホームページ上にあるデータベースを元に作成、今年度は、データベースをより見やすく改訂すると共に、印刷物を冊子形式に変更し、ACY に相談する企業等が活用できるイエローページ的な体裁で発行しました。100 を超えるアーティスト、クリエイターの情報を紹介しています。また、東アジア文化都市用に、和文の増刷、英語版も発行いたしました。

和文発行部数 3,000 部
 和文増刷 3,000 部
 英文発行部数 3,000 部



4 創造的産業振興モデル事業

(1) マッチングコーディネーター モデル事業

横浜市内の中小企業支援と、創造都市に集積するクリエイター支援を目的に、双方をマッチングさせることで横浜ならではの新たなビジネスを生み出すプロジェクト。

プロデューサーの Co-lab の田中陽明氏を筆頭に、コンサルタントの広瀬郁氏、ディレクターの伊藤祥次氏とチームを編成。ヨコハマ創造都市センターの役割は、クリエイターの紹介、アテンドを含む、マッチングに関わるアドバイスを行っています。民間チームが、横浜企業経営支援財団と共に、企業、クリエイターのヒアリングを行い、ブランディングの形成、マッチングの仕組みづくりをしています。横浜市が、全体を統括している事業です。

(2) スローレーベル事業の委託

象の鼻テラスが進める横浜ランデヴュープロジェクト実行委員会に参画し、スローレーベルの事業費を負担金として支出しています。

(3) 横浜土産デザインプロジェクト



実験的に地域産業とデザイナーが連携して、横浜土産のデザインを高めていくプロジェクトを実施します。若手、中堅デザイナー支援を目的に、企業へは「デザインが商品の付加価値を上げること」への理解促進の一助とし、土産の発信力により横浜の魅力づくりに貢献します。

まずは、横浜ならではのデザイン性の高い土産開発に実績のある企業へ連携を打診、プロジェクト参画とデザイン化して良い商品情報の提供を依頼しました。次に若手・中堅デザイナーに企業側から提供された商品情報をもとにデザイン案の作成、1商品あたり複数のデザイナーによるコンペを行い、YCCが設置する審査会でデザインを決定しています。最終的に、企業とデザイナーが契約し商品が、平成26年度の横浜トリエンナーレの時期に発売されます。これらのマッチングコーディネートをしています。

5 創造都市プロモーション、広報



文化芸術創造都市・横浜の取り組みを、首都圏を中心に広く周知するため、横浜市都心部における諸活動を紹介するプロモーション活動を行う事業です。イベント等の催事のほか、創造都市政策のもとに横浜に集った人材やプロジェクトなど、日常的な営みをウェブサイト(SNS含む)およびメディア向けプレスワークを通じて発信。下半期は、プレスワークの継続と、開設した新規ウェブサイト・SNSの運用を行いました。

(1)創造都市横浜サイト

内容：昨年度まで運営した「アートウェブマガジン ヨコハマ創造界限」、OPEN YOKOHAMA キャンペーンサイト等の現状分析を行ったうえで新規制作したウェブメディア。Facebook、Twitter等のSNSと連動し、取材・執筆を基本に「読みもの」として情報発信を行っています。

期間：2013年9月10日開設

更新頻度：月2回以上、3回程度更新(第2、第4金曜日を基本)

編集方針：アート、産業、まちづくりなど、広くクリエイティブな活動を取り上げる。イベント情報に限らず、日常的な取り組みや中長期的なプロジェクトなども読み物化しストーリー性を加えて紹介する。アートツーリズムの視点を加え、クリエイティブな視点で楽しんでもらえるよう横浜の街を紹介する。①特集、②ひと、③街、④モノ、⑤コト、⑥食べる、⑦おみやげ、⑧コラム、⑨注目イベント、⑩イベントレポートの10カテゴリーを設け、記事を作成。

□公開記事数：87本

□ウェブサイト累積ページビュー数：193,200 (H25/9/10～H26/3/27)

□SNS実績：Facebook：10,000 いいね！(H25/9/10～H26/3/27)

Twitter：5,146 フォロワー ((H25/9/10～H26/3/27)

(2)プレスワーク

創造界限のピックについて、首都圏メディアを対象にプレスリリースやニュースレターを配信しました。取材働きかけなども行い、なかなか取り上げられないテレビメディア等の露出に成功しています。

広告換算額：1億8486万9915円

本活動で獲得した主な露出メディア：

テレビ朝日グッド！モーニング、

NHK 首都圏ニュース 845、

The Japan Times、

tvk「ありがとっ！」 など

(2)ヨコハマ創造界限メールニュース

内容：主に、創造都市のイベント、ワークショップ等の情報の発信

期間・回数：通年、月2回隔週金曜日計24回

登録数 3,382 通

編集方針：創造界限の注目イベント、YCCの共催事業、ACYの助成事業を取り上げる。

(3)馬車道駅改札前円柱ポスター掲示

内容：横浜高速鉄道株式会社の協力により馬車道駅から移動可能な創造都市のイベントの告知。

期間：通年

これまでの開架数：21イベント

(4)ヨコハマ創造都市センター サイトリニューアル

横浜を楽しむ人の「知る」を対象とする「創造都市横浜ウェブサイト」に対して、横浜で行動したい人に向けたウェブサイトと位置づけリニューアル設計。

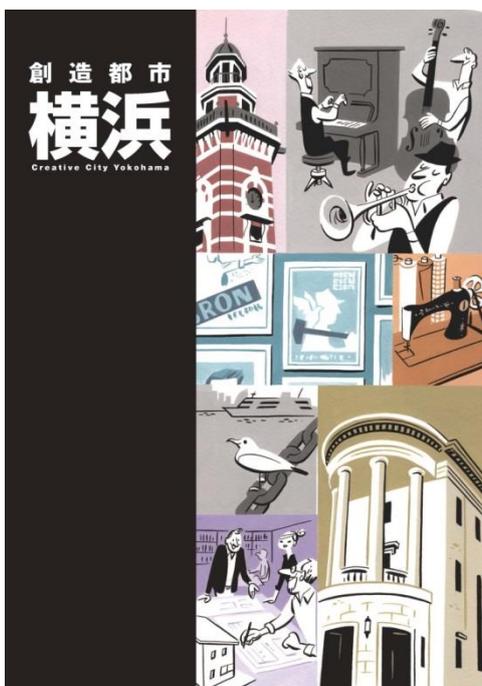
これまで別であった YCC ウェブサイトと ACY ウェブサイトを統合し、1サイトにしました。YCC/ACY の存在と活動内容をより理解してもらうために、閲覧者の視点で事業を整理しなおしました。

期間：2013年9月30日開設



(5)冊子「創造都市横浜」

創造都市横浜政策を伝えるための政策プロモーション冊子を横浜市と共同編集の上、作成しました。



(6) 東アジア文化都市関連プロモーション CREATIVE©ITIES「創造©都市」展示



日程:2014年2月26日(水)ー
 会場:ヨコハマ創造都市センター1F風除室

CREATIVE©ITIES「創造©都市」は、シンガポールで活躍するクリエイティブディレクターのジャクソン・タン氏が、キュレーターとなりグラフィックスを構成・制作した、インフォグラフィック作品。バンコク、北京、香港、高雄、クアラルンプール、マニラ、ソウル、シンガポール、シドニー、東京、横浜のアジアの11都市に滞在するクリエイターたちが参加するプロジェクト。東アジア文化都市開催を記念して、ヨコハマ創造都市センターの入口8m×6mの壁一面に設置。

6 アーティスト・イン・レジデンス(横浜市・成都市交流プログラム)



2012年より、中国・成都市の非営利アートギャラリーである「A4 当代芸術中心」(A4 Contemporary Arts Center)とスタートした相互派遣型のアーティスト・イン・レジデンス交流事業。

●受け入れ：成都を拠点に活動する平面(油彩)の現代美術作家・何千里(ホー・チェンリ)氏が来日。黄金町エリアマネジメントセンターの協力にて黄金町に制作スタジオを設け、黄金町バザール参加の海外作家、日本人作家と交流を深めながらのレジデンスが実現しました。また、横浜や日本の現代社会の理解を重視する点も本事業の特徴で、アーティストは、地元住民や企業との交流、日本の農村生活体験や他都市訪問などを通じ日本の見識を深めました。帰国後は、A4 当代芸術中心にてトークセッションが行われ、中国の方にリアルな現代日本を知ってもらう機会となりました。

滞在期間： 7/23～9/22

滞在场所： chap403号

制作・展示場所： ハツネウイング

成果発表： 9/1(日)～14(土) @YCC 来場者 286名

9/14(土)～11/24(日) @黄金町バザール

ライブペインティング：9月1日(日)15:00～ 来場者 20名

アーティスト・トーク：9月14日(土)15:00～17:00@YCC3Fスペース 来場者 42名

事業紹介および滞在制作の様子についてのパネル展示：

8/7(水)～10/16(水)展示期間延長@YCC1F カフェスペース壁面

9/22 何千里氏帰国

9/27 何千里氏アーティストページ公開(WEB「横浜 アーティスト・イン・レジデンス」)



●派遣

横浜出身のアーティストユニット「SHIMURAbros」を派遣。成都に約2ヶ月滞在し、作品制作を実施。この滞中で制作された新作映像作品「FLORENCE LAWRENCE」に加え、過去の作品も含めた個展「SHIMURAbros」をA4 当代芸術中心にて1ヶ月間開催。約3000名が来場しました。本作は、横浜の滞在成果を発表する何千里の作品展(YCCにて開催)でも発表し、成都での滞在制作プログラムの公開機会を設けました。

滞在期間:2013年4月1日~5月31日

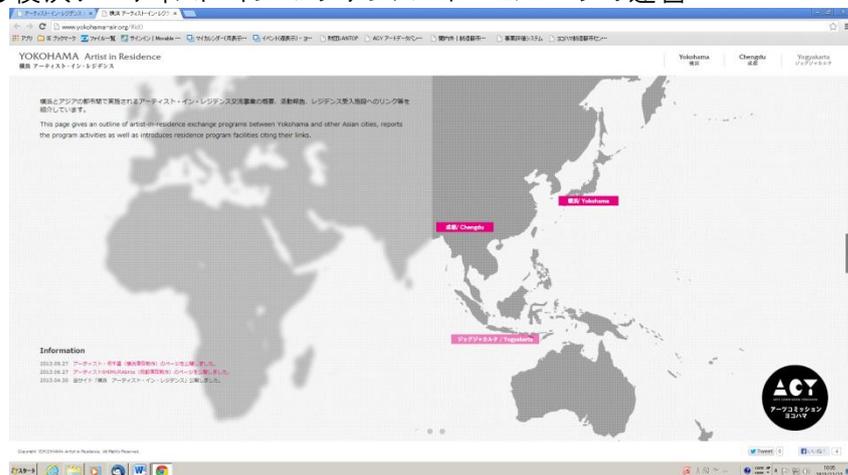
制作場所・展示場所:A4 当代芸術中心

制作発表:2013年5月26日~6月26日

アーティスト・トーク:2013年5月26日

- ・来年度派遣アーティストについてのディスカッションを成都側と実施。

●横浜アーティスト・イン・レジデンス ホームページの運営



8. その他

(1) 視察・ヒアリング

Shongshan Cultural and Crative Park Vice Director Jasmine Chou manager Finalin
台北文化財団(松山文創園団)
清洲(チョンジュ)市
仁川広域市
札幌市文化部市民文化課
(財)札幌芸術文化財団
青森市
仙台市+凸版印刷
川越市
鎌倉市
富山市
(公財)神戸市民文化振興財団
沖縄県
横浜国立大学松行研究室
富士通エフサス フューチャーセンター
みなとみらいコミュニティクラブ
横浜市経済局戦略誘致担当
横浜市企業経営支援財団
*大学生や個人で研究している人は含まず。

(2) 講師依頼 等

6/初 メビック扇町エリアサポーター就任
8/11 せんだいスクールオブデザイン(東北大学)講演依頼 登壇@メディアテーク
1/13 オープンシティ研究会 登壇(関内外OPEN!プレゼン)@首都大学サテライトキャンパス
3/2 日本建築士家協会 神奈川主催「横浜建築祭 2014」分科会登壇

9. 別添資料

- (1) 芸術不動産及びリノベーション推進のためのオーナー経営支援事業 報告書
- (2) 創造的産業振興モデル事業 報告書
- (3) 創造都市プロモーション 報告書
- (4) ACY 広報実績